

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	15143
課題名	感染がんの病態と神経ペプチドを介した炎症・免疫応答等に関する研究
研究期間	西暦 2016 年 3 月 1 日 ～ 西暦 2021 年 2 月 28 日
利用する情報、検体	<p>■ 診療情報（詳細：患者基本情報、血液学的検査結果、血液生化学検査結果、出血傾向、活動性感染症、腫瘍径・Stage、腫瘍マーカ値）</p> <p>■ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：肝がん・子宮頸がん・HPV 陽性中咽頭がん・上咽頭がん）</p> <p>■ 血液</p> <p>■ その他（腫瘍組織標本）</p>
	<p>※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります</p> <p>西暦 2006 年 1 月 1 日 ～ 西暦 2016 年 2 月 28 日</p>
研究の意義、目的	<p>本研究では、感染がんにおいて腫瘍と神経ペプチドによる炎症・免疫応答の状態をきちんと定義づけ、より有効な治療を選択するための新しい知見を得ることを目的としています。感染がんに関連すると考えられる神経ペプチドに関係する物質を顕微鏡レベル、タンパク質レベルで適切に把握することで、より効果的な治療に役立つ知見を得るための研究です。</p>
研究の方法	<p>患者さんからご提供いただく血液および腫瘍組織や手術標本を用いて、神経ペプチドやその受容体、がん抗原タンパクや免疫に関係するタンパク質を測定したり、がん抗原に対する免疫応答を測定したりすることで、それらの結果と診療情報と合わせて神経ペプチドによる炎症・免疫応答の程度とがんの状態やがんの治療効果との相関関係を検討します。遺伝子情報の検索、検討は行いません。</p>
その他	
個人情報について	<p>利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。</p>
問い合わせ等の窓口	<p>所属：旭川医科大学病理学講座免疫病理分野</p> <p>氏名：小林 博也</p> <p>電話番号：0166-68-2381</p>